

常緑 / 多年草 / 地被類等 / シダ植物 / 在来種



科名 オシダ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通
草本扱い (保証の観点より)

自然風の景を演出しやすいことから、庭園によく使われるシダ。日本各地の日当りの良い低地や沿海部の崖地などに自生する。常緑性の葉は15～60cmほど。四方に広げ、光沢のある濃緑から黒褐色になる。葉にはほとんど鋸歯がなく、周囲が波立つような厚い葉をつける。



水辺の配植例



石積みの際間の配植例



葉



葉裏の胞子嚢(のう)

Memo

シダ植物を上手く育てるには、湿度と水が重要ポイント。水の存在はシダの繁殖にとって生命線。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期												
🍒	果実												
🍁	紅葉												
🌱	施肥					(痩せ地でなければ不要)							
✂️	剪定				(古い葉の切除)								

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○	○	湿
寒さ	強		○		弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

石積の間や飛び石の脇などによく似合う。自然に自生しているような景ができる。強い日差しを避けた半日陰の場所が適地。周囲に葉を広げるので、独立させて植えないと他の植物が埋もれてしまう。

剪定

古くなった葉、傷んだ葉を切除すると見栄えが良くなる。また、大きくなりすぎたときは葉の数を間引くとよい。

病虫害

病虫害は少ない。